

製品名: IL-1RII ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12527**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	IL1R2
別名	IL1R2; IL1RB; Interleukin-1 receptor type 2; IL-1R-2; IL-1RT-2; IL-1RT2; CD121 antigen-like family member B; CDw121b; IL-1 type II receptor; Interleukin-1 receptor beta; IL-1R-beta; Interleukin-1 receptor type II; CD121b
遺伝子 ID	7850.0
SwissProt ID	P27930
免疫原	抗血清はヒト IL1R2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

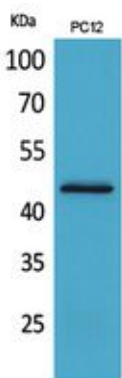
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 1 受容体ファミリーに属するサイトカイン受容体です。このタンパク質は、インターロイキン α (IL1A)、インターロイキン β (IL1B)、およびインターロイキン 1 受容体 I 型 (IL1R1/IL1RA) に結合し、そのリガンドの活性を阻害するデコイ受容体として機能します。インターロイキン 4 (IL4) は、このサイトカインであるインターロイキン 1 の発現と放出を誘導することで、その活性に拮抗することが報告されています。この遺伝子と他の 3 つの遺伝子は、染色体 2q12 上にサイトカイン受容体遺伝子クラスターを形成します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションとタンパク質アイソフォームが生成されます。選択的スプライシングにより、膜結合型タンパク質と可溶性タンパク質の両方が生成されます。また、タンパク質分解によって可溶性タンパク質も生成されます。 [RefSeq 提供、2012 年 5 月],機能:インターロイキン-1 アルファ(IL-1A)、ベータ(IL-1B)、およびインターロイキン-1 受容体拮抗タンパク質(IL-1ra)の受容体。類似性:インターロイキン-1 受容体ファミリーに属する。類似性:3 つの Ig 様 C2 型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。 ,

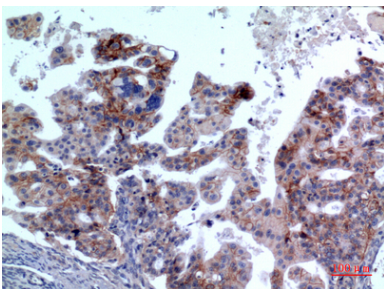
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;造血細胞系統;

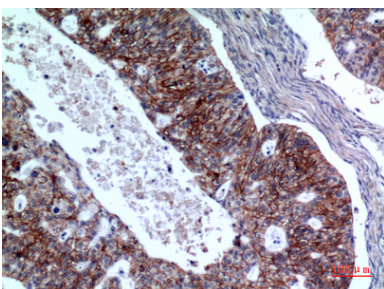
画像データ



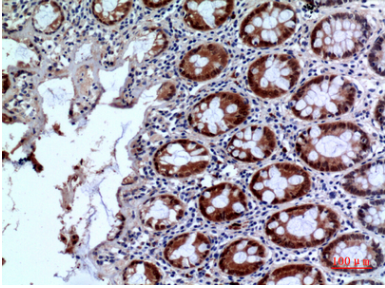
IL-1RII ポリクローナル抗体を用いた PC12 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



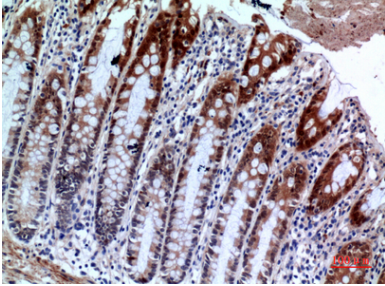
パラフィン包埋ヒト卵巣癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト卵巣癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された